

プロトコル
第XXII回議会事務局の会合
世界や伝統宗教の指導者たち

2024年10月8日アスタナでカザフスタン共和国議会上院議長の議長の下に-世界と伝統的宗教の指導者会議の事務局 Mawlan AWIMBAV The XXII session of the Congress of Leaders of World and Traditional Religions

セッションには以下の者が参加した。

イスラム教の代表者:

Abdrahamn Musa -シェイク・アル＝アズハル事務所長、大使（エジプト）。

アブデル・アジズ・ビン・アフマド・サルハン-世界イスラム連盟の特使、医師(KSA)

。

Jayhun Rustamov -カフカース・ムスリム・オーソリティ議長、カフカース・ムスリム・オーソリティ地域委員。

アフマド・ビン・アブドゥッラー・アル＝ファールス-サウジアラビア王国イスラーム問題・徴兵・指導副大臣、医師（KSA）。

ウサーマ・ファクリ-エジプト・アラブ共和国のヴォクフ省のモスクと聖クルアーンの中央部門の長、医師(エジプト)。

アリ・アクバル・ズィアイ-イラン・イスラム共和国異宗教・異文化対話センター長、博士(イラン)。

Muhammad Zia Ul-Haq、イスラマバード国際イスラム大学イスラム研究所所長、PhD (パキスタン)。

キリスト教の代表：

Nettural -エルサレム正教会の主教、アンフィドンの大主教、イスタンブールのエルサレム総主教の代表(トルコ)。

イリア・カーシティン-モスクワ総主教庁対外教会関係部門の宗教関係担当書記、ロシア宗教評議会事務局長、司祭(ロシア)。

カレド・アカシュ(Khaled Akash)-バチカンの聖座異宗教間対話に関するディカステリ事務局長。

ユーリ・ノヴォロフ-世界ルター派連盟代表、カザフスタン共和国の福音ルター派教会の名誉大司教(スイス)。

ジョー・ベイリー・ウェルズ(Joe Bailey Wells)-英国聖公会副事務総長、英国聖公会司教。

仏教の代表者：

鄭CE、中国仏教会副会長、湖北省(中国)仏教会会長。

アリフィン・ヤマ、世界仏教界代表、博士(タイ)。

文宗朝鮮仏教教団「チョーゲ」(大韓民国)宣教部部長。

Enkhboldyn Bayar、モンゴル仏教センター(モンゴル)の僧院管理«ガンダン・タグチェンリン»の僧侶。

ヒンドゥー教の代表者：

アビチェ・ゴッシュ-大学のダルマ学部長«Somaiya Vidyavihar»、教授(インド)。

道教の代表：

Zhang Sinfa -道教中国学院教授。

シントイズムの代表：

三井晋作-協会「神社本庁」対外関係部長(日本)。

バハイの代表者：

デイヴィッド・ルトシュタイン-世界バハーイー共同体事務総長、医師（イスラエル）。

国際機関の代表者：

ムハンマド・アブデルサラーム-ムスリム・クヴォヴェタ長老（UAE）事務総長。

ムハンマド・アリー・アル・ガムディー-ドーハ国際宗教間対話センター(カタール)副議長。

名誉あるゲスト：

アラブ首長国連邦寛容平和共存省長官アフラ・ムハンマド・アルサブリ。

カザフスタン宗教団体の代表者：

ナウリツバイ・カジ・タガヌラ、カザフスタン・イスラム教徒の精神的権威の議長、最高ムフティ。

カセレン市・ゲンナディ司教、カザフスタン正教会の事務管理。トマーシュ・ベルナール・パット-アスタナのローマ・カトリック聖マリア大司教区の府主教

シュムエル・カルナウ、MRO「アスタナのユダヤ人コミュニティ」のディレクター。

カザフスタン共和国代表：

マウレン・アシンバエフ-カザフスタン共和国議会上院議長、世界及び伝統宗教指導者会議事務局長。

アイダ・バラエヴァ共和国文化情報大臣

カザフスタン

カザフスタン共和国外務第一副大臣、世界伝統宗教指導者会議事務局副長官。

カナト・イサコフ-カザフスタン共和国文化情報副大臣、世界・伝統宗教指導者会議事務局副局長。

ダイアナ・エセノバ・シニア。NPO 理事会の会長 «Nazarbayev 宗教間および文明間対話の開発センター »。

第XXII回議会事務局の会期中に、以下の議題が採択された。

1. 2023年から2033年までの期間における世界及び伝統宗教指導者会議の発展の概念の促進について。

2. 「世界伝統宗教指導者連盟親善大使」の地位付与に関する規定の承認

。

3. 親善大使の選挙 世界と伝統的な宗教の指導者の会議。
4. 若い宗教指導者の最初のフォーラムの開催について。
5. 第VIII回世界・伝統宗教指導者会議全体会議のテーマの定義とパネルセッションのトピック。
6. 第VIII回世界・伝統宗教指導者会議と第XXIII回会議の開催日の決定。
7. 世界及び伝統的な宗教指導者会議事務局のXXII議定書の採択。

第21回大会事務局では、議題のすべての項目について実りある建設的な意見交換が行われた。

事務局の全メンバーが、上記の問題についての発表と議論に参加した。

第十二回議会議事務局会議の参加者の提案を考慮して、以下の決定が行われた。

・ 2023年から2033年までの期間における世界及び伝統宗教指導者会議の発展概念の促進に関する情報に留意する。

会議事務局とその作業機関であるNの協力を強化する。ナザルバエフ世界と伝統的な宗教の会議の指導者の開発の概念の重要な規定を促進するために、権威ある国際機関やさまざまなセンターとの宗教間および文明間対話の開発のためのセンター。

2.「世界伝統宗教指導者連盟親善大使」の地位帰属規定を承認すること。

3.世界及び伝統宗教指導者会議の親善大使を選出し、以下の高い人格者による独特のサイン及び証明書を提示すること。

テオフィロス3世-エルサレムとすべてのパレスチナ、シリア、アラビア、ヨルダンのオボンポリ、ガリラヤのカナと聖シオンの聖杯の最も祝福された総主教。

ジョー・ベイリー・ウェルズ(Joe Bailey Wells)-聖公会副事務総長、聖公会省主教。

Thich Huck Thien -書記長、ベトナム仏教サンガの執行委員会副議長。

ムハンマド・アブデルサラーム（Muhammad Abdelsalam）-ムスリム長老会議長。

ディマシュ・ケク・ジベルゲン-カザフ人の歌手、作曲家、マルチインストゥルメンタル奏者。カザフスタン人民芸術家。

. 第一回宗教指導者フォーラムに留意する。

第八回世界・伝統宗教指導者会議のテーマを「宗教の対話:未来のためのシナジー」という文言で定義する。

VIII Congressのパネルセッションの以下のテーマを定義する。

セッション1 :「21世紀:人類の統合における宗教の役割」。

セッション2:「持続可能な開発の要素としての宗教」。

セッション3:「デジタルリアリティと人工知能の時代における精神的価値」。

セッション4 :「過激主義に対する信仰」。

6. 2025年9月17-18日にアスタナで第8回世界伝統宗教指導者会議を開催する。

2025年9月16日に世界伝統宗教指導者会議事務局第23回会議を開催する。

2025年9月15日に開催される第23回会議の準備の質を確保するため、事務局作業部会の定例会議を開催する。

．世界及び伝統宗教指導者会議事務局の第XXII回会合の議定書を採用する。

．世界や伝統的な宗教の指導者、その他の著名な宗教者に、行われた決定について知らせる。

2024年10月8日にアスタナで、カザフ語、ロシア語、英語、アラビア語、中国語、日本人とペルシャ人。文書のすべての言語バージョンは等しい力を持つ。

議定書は、世界及び伝統的な宗教の指導者会議の事務局の本部に保管されている。ナザルバエフ宗教間・文明間対話開発センター。各締約国に認証謄本を送付する。

カザフスタン共和国、アスタナ市、

2024年10月8日
